

教 科	工業（建築技術科）	科 目	必修科目：建築構造	単 位 数	2
履修学年	1 学年	使用教科書	建築構造(実教出版)	履修年度	令和2年度
科目の 目標	建築物の構造および建築材料に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。なかでも、木構造は部材の組み合わせの方法、および名称について理解させる。				

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
評価規準	建築構造に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身につけようとしている。	建築構造に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築構造技術について考え、自ら思考を深め適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。	建築構造に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築工事の現場を観察し、実習等において技能を活用し表現することができる。	建築物の構造に関する基礎的な知識と技術を身につけ、木構造を基本として伝統技術の蓄積の上に新たな技術や工法が生まれることを理解しようとしている。
評価方法	授業中の取組状況 ノート・課題プリント 出席状況、定期考査	授業中の取組状況 ノート・課題プリント 出席状況、定期考査	授業中の取組状況 ノート・課題プリント 出席状況、定期考査	授業中の取組状況 ノート・課題プリント 出席状況、定期考査
	建築構造に対する興味関心・意欲などを確認テスト、ノート提出、課題プリント提出により判断します。授業中の取り組み姿勢（授業に必要な物品の整理整頓なども参考にします。）以上を踏まえて、定期考査の結果と併せて総合的な評価をします。			

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4 5	10	第1章 建築構造の あらまし	1. 建築構造の歴史的発達 2. 建築構造のなりたち 3. 建築構造の分類 4. 建築物に働く力 5. 関連する法規と規準	授業中の観察（取組状況） 「中間考査」・ノート ・その他の提出物他
	6 7	12	第2章 木構造	1. 構造の特徴と構造形式 2. 木材 3. 木材の接合 4. 基礎	授業中の観察・プリント 「期末考査」・ノート ・その他の提出物他
2 学 期	9 10	13	第2章 木構造	5. 軸組 ・土台・柱・桁・梁・耐力壁 6. 小屋組 ・和小屋組・洋小屋組 7. 床組	授業中の観察・プリント 「中間考査」・ノート ・その他の提出物他
	11 12	13		8. 階段 9. 開口部 10. 外部仕上げ ・屋根・軒天井・とい・外壁	授業中の観察・プリント 「期末考査」・ノート ・その他の提出物他
3 学 期	1 2 3	12	第2章 木構造	11. 内部仕上げ ・床・壁・天井・床の間 12. 木造枠組壁構法 ・特徴・構造材・躯体の構成	授業中の観察・プリント 「学年末考査」・ノート ・その他の提出物他